

## 新市の名称について（案）

平成 16 年 10 月 13 日

合併協議において、新市の名称決定は非常に重要でかつ取り扱いに苦慮する問題である。既に、当協議会においても、任意協議会あるいは委員研修会の場において、名称協議を進めてきたところであり、このことは、委員におかれても、十分に認識されていることと思う。

もとより、市町村の名称は、それぞれの歴史的由来を持ち、住民が深い愛着を持つが故に、合併により、名称が消滅することに対して、住民の中に抵抗感や不安感が生ずることも十分理解できる。これが原因で、合併協議が順調に進んで来たにもかかわらず、最終的には合併に至らなかったケースが数多くあることも承知しており、慎重な対応が求められることと認識している。

しかし、これまでの合併協議において築き上げた相互の信頼感と互いを尊重しあう精神を大切にしながら、新市の名称協議を無事乗り越え、合併の実現に資することが、我々法定協議会に課された使命でもある。

このため、今後の名称協議において、委員間での無用な感情的対立を避け、円滑な協議を進めるため、委員各位の了解のもと、会長の立場において、新市の名称案を提示する。

### 記

#### 提案内容

新市の名称は、「胎内市」とする。

#### 提案理由

次の点を総合的に勘案した。

##### 公募結果の尊重

- ・公募結果では、「胎内」が他の候補より圧倒的に数をしのいでいた。町村別でも、中条町及び黒川村の両町村から数多く応募されており、また、年代別でも、各年代から万遍なく支持を受けている。これらのことを踏まえると、両町村の住民から十分支持を得られる名称ではないかと考える。
- ・もとより、最終候補 5 点については、同等に取り扱うべきではないかとの意見も当然あるが、公募という形で民意を問い、かつ、結果が「胎内」が他を圧倒しているのであれば、この事実を十分に尊重すべきではないかと考える。

- ・なお、応募数が少ない中での公募結果を疑問視する可能性もあるが、少なくとも、県内の他の協議会で実施された名称公募と比較すると応募期間や条件はほぼ同じであり、また、応募数を比較しても、特に、見劣りするものではなく、公募結果としては十分尊重できる。

#### 新市名称候補選定基準の充足

「胎内」はアイヌ語で「清い水の流れ」を意味する。この清流が地域の豊かな自然と深い歴史を育んできた。地形に見る、稀な特徴や豊富な地下資源、水害と戦ってきた先人の偉業なども、胎内川がもたらしたこの地域独特の恩恵と言える。まさに母なる川「胎内」が新市のシンボルとして、名称候補選定基準に掲げる条件を十分満たしているのではないかと考える。

#### 新市のまちづくりの基本的方針と一致

新市建設計画において、新市の将来像を自然共生型アメニティー都市の実現に置いている。これは、両地域の豊かで特徴的な自然をここでしかできない産業や交流に活用し、住む人にやさしく、かつ快適で、また、訪れる人にも潤いを提供する都市を目指しているものである。この都市像を象徴的に表す名称として、「胎内」がもっとも相応しいのではないかと考える。

#### 既存町村名廃止に伴う影響

- ・本来、新設合併であれば、既存の自治体の法人格が消滅し、合併をもって、新たな法人格を持った自治体が誕生するのであり、当然、既存の自治体の名称は消滅し、新設の自治体に新たな名称を冠するというのが筋である。
- ・但し、合併に伴う社会経済的な影響を考慮し、新設合併であっても、既存の自治体の名称を使用する例もある。県内でも市と町村との合併で例があるが、町村同士の新設合併の場合では、全て、合併に伴い新名称を採用している。
- ・今回の合併により、既存の名称が消滅することによる社会経済的な影響はそれなりにあることは十分認識しているが、合併による新しい自治体の創設が広い意味での住民福祉の向上に資するものであると考え、名称変更により、影響の被る関係機関並びに関係者の御理解をお願いしたい。